



レガネット太宰府で期間限定販売

「梅」プロジェクト製品9品を、レガネット太宰府で3月25日(月)から約3週間、期間限定で販売しました。これまで直売店やふるさと納税返礼品などでしか手に入らなかった製品を、市民の皆さんにも購入してもらえるように企画しました。販売開始当日には、楠田市長と担当職員が店頭ブースでセールスし、来店客に製品の魅力をPRしました。

今後も令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの認知度を高め、更なるブランド価値の向上を図ります。



来店客に試食をすすめる楠田市長

全世代居場所と出番づくり

いきいき情報センターに壁画アート

本市いきいき情報センター1階の西鉄五条駅側入口からエレベーターまでの通路に、市内在住の画家・太田宏介さんと筑陽学園高校デザイン科の生徒が協力して、壁画アートを制作しました。参加した生徒たちは「たくさんの人に見てほしい」と笑顔を見せました。楠田市長は「いきいき情報センターの名前にふさわしく、この力作が皆さんの集まるきっかけとなり、明るく元気な気持ちになってほしい」と語りました。



太田さんの作品を描く様子

まちのトピックス

世界に羽ばたく人材育成

福岡ファイヤーバードバトンチームが全国大会出場

第49回全日本バトントワーリング選手権大会と第5回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会出場報告のため、福岡ファイヤーバードバトンチーム所属で市内在住の皆さんが3月14日(休)、表敬訪問しました。

楠田市長は「本番は緊張するでしょうが、緊張は人を成長させます。その緊張を楽しみ、日頃の練習の成果を発揮できるように頑張ってください」と激励の言葉をかけました。



報告に訪れた皆さん

世界に羽ばたく人材育成

筑陽学園高校男子テニス部が全国大会出場

筑陽学園高等学校男子テニス部が、第46回全国選抜高校テニス大会男子団体の部に出場することを報告しました。県大会では男子団体6位となり、3年ぶり6回目の全国大会出場です。全国大会は3月20日(休)に博多の森テニス競技場で行われました。



報告に訪れた生徒たち

令和の都

令和の万葉大茶会 太宰府大会開催

『万葉集』編さん者・大伴家持ゆかりの地を巡る令和の万葉大茶会が2月10日(土)、本市で開催されました。全国から万葉ゆかりの人や観光客が訪れ、元号令和の典拠となった「梅花の宴」の再現や、太宰府天満宮での茶会、九州国立博物館での講演会を満喫しました。

本年は令和改元から5年の節目でもあるため、この行事を皮切りに令和に関するさまざまな取り組みを行います。



大宰府万葉会による梅花の宴の再現

私のだざいふ

太宰府キャンパスネットワーク会議
令和6年度学生連絡会委員
九州情報大学 経営情報学科3年



ほりうち みずき
堀内 瑞貴さん

私は、進学を機に山梨から太宰府に引っ越してきました。初めは、環境にも慣れず不安がいっぱいでした。特に山梨との気候の違いを感じました。また、一人暮らしの為、料理や掃除・洗濯などを全て一人で行わないとならないことから疲労も溜まっていました。しかし、バイトや学校行事を通して地域の方々と交流をすることで太宰府にいる方の温かさを肌で感じる事が出来ました。

最初は一人で、話す相手もいませんでした。しかし、今ではバイト先に来る方との交流や、学園祭などを通して地域の方々との交流もあり、この約2年間で地元と同じくらい太宰府が好きになりました。それは、地域の方々を私を受け入れてくれたからです。人と人の近さが太宰府の魅力です。私は、太宰府という地域に進学してきたことはとても良かったと思います。今後、進学してくる方や住まわれる方にこの魅力が伝わるよう私自身大学生という立場から活動していこうと思います。

Contents

目次

2024年5月号

特集

- 令和6年度 当初予算 4~9
- 介護保険料が決定 10
- 後期高齢者医療保険料の算定方法が決定 11
- 介護予防健康づくりカレンダー 12~13
- 高齢者に関する相談は地域包括支援センターへ 14
- 5月12日は民生委員・児童委員の日 15
- 5月は消費者月間です 16
- 認可保育施設合同就職説明会開催 17
- 市からのお知らせ 18~19
- 連載 20~30
- なんでも情報コーナー 31~37
- 太宰府の文化財 38

市政ニュース

人材育成・登用

年度末・年度始め行事を行いました

本市の退職者辞令交付式を3月29日(金)、新規採用職員・人事交流職員・異動職員への辞令交付式を4月1日(月)にそれぞれ行いました。

楠田市長は、年度末行事の際には退職職員へ心からの労いを伝え、年度始め行事では下記3つの基本方針を改めて職員と共有しました。



新規採用職員 21人が入庁

令和6年度経営方針の基本方針

- 職員は常に市民本位、現場主義を心掛け、三役や上司との密な報告、連絡、相談を徹底し、責任の所在の明確化、信賞必罰を旨とする。
- 職務遂行に当たっては、指示待ちではなく、常に世の為人の為市の為市民の為にという当事者意識を持って、主体的、積極的に取り組む。
- 企画立案に当たっては、職員一人一人が前例に捉われず、自由な発想と創意工夫をもって、中長期的視野に立った企画立案を心掛ける。